

岩手県
知事 達 増 拓 也 様

要 望 書



冬期の国道343号笹ノ田峠

【岩手県陸前高田市・一関市】

国道 343 号新笹ノ田^{しんささの だ}トンネルの早期事業化について

国道 343 号は、岩手県内陸部の生産拠点と沿岸部の港湾とを結ぶ物流ルートであるとともに、観光拠点を結ぶ広域観光ルートとして重要な路線であります。

令和 3 年度には、国の復興道路に指定されている三陸沿岸道路が全線開通し、沿岸と内陸を結ぶ幹線道路の整備が今後ますます重要となります。国の復興支援道路に指定された横軸の路線としては、岩手県中央部では宮古盛岡横断道路が、県中部においては東北横断自動車道釜石秋田線^{かまいしあきた}が高規格道路として整備されましたが、岩手県南部においても、横軸となる道路ネットワークの構築を進めていく必要があります。

陸前高田市と一関市の境にある笹ノ田^{ささの だ}峠は、幅員狭小や急峻な山地を越えなければならない地理的条件から交通の難所となっており、積雪寒冷地という気象条件により、特にも冬期間は、交通に大きく支障をきたしており、東日本大震災では沿岸部に向かうほとんどの支援車両が通行を避け、国道 284 号へ迂回しており、本年 2 月に発生した大船渡市の大規模林野火災では、応援に向かう消防車両も同様に迂回が繰り返されたところであります。

また、近年は、国内各地においても、台風等による大雨や水害などが頻発しており、その被害は以前にも増して甚大になっており、「岩手県地域防災計画」の中で陸前高田市と一関市が市町村相互協力として位置付けられていることから、非常時においても輸送路・避難路として機能する道路網の確保は急務であり、新トンネルの整備による安全・安心な交通の確保と所要時間の短縮が求められています。

新トンネルの実現に向けて、平成 26 年度に沿線自治体において 9 万人を超える署名が集まったところです。こうしたことを受け、岩手県において「国道 343 号^{ささの だ}笹ノ田地区技術課題等検討協議会」が設置され、^{ささの だ}笹ノ田地区の現道の課題について、対策の必要性、効果及び技術的課題等の検討が進められており、今後の展開について、沿線自治体、住民ともに大いに期待しているところであります。

つきましては、災害発生時における広域的かつ機動的な危機管理の確保を踏まえた対策と併せ、国道 343 号沿線地域において、長年の悲願であり、今後急速に進む人口減少のなかでの地域間交流・連携強化のためにも、このような状況をご理解いただき、「新^{しんささの だ}笹ノ田トンネル」の早期事業化について特段のご配慮をいただきますようお願いいたします。

令和8年1月15日

陸前高田市市長 佐々木 拓

一関市長 佐藤 善仁

陸前高田市議会議長 及川 修一

一関市議会議長 勝浦 伸行